

2021年7月号

ほっと・氷川台
デイサービスセンター
だより7月



ほっと・氷川台
デイサービスセンター



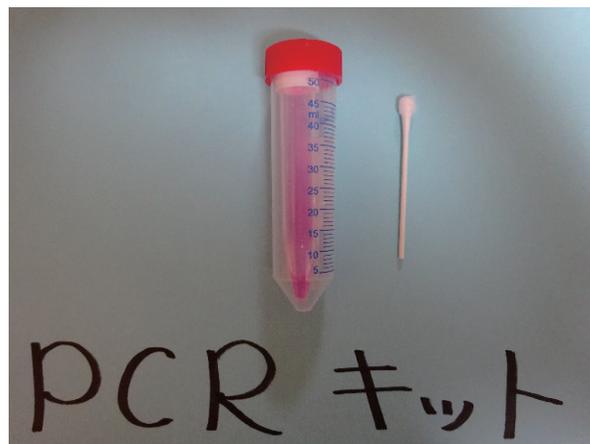
PCR検査・ワクチン接種

ほっと・氷川台デイサービスセンターでは、5月より御利用者様、スタッフ共に、週1回のPCR検査を行っています。ご利用者様に関しましては、ご家族の同意を頂き、6月25日までPCR検査を受けて頂き終了となります。様々お手数をおかけしますがよろしくお願いいたします。

毎週、水曜日から金曜日の三日間を使って、看護師の斉藤のもとで唾液摂取によるPCR検査を行っています。ご利用者様から、2mlの唾液を摂取する事は、ご利用者様に大変な御負担をおかけしてしまいますので、ご利用者様に関しましては、キットの中にある、綿棒による唾液の摂取方法を取らせて頂いております。これも口の中が乾いて、唾液が摂取しにくかったりと様々な問題がありますが、看護師が色々工夫して頑張ってくれています。摂取してから72時間以内に検査依頼し2日で結果報告がきます。おかげ様で御利用者様、スタッフ共に全員陰性です。

また、徐々にではありますが御利用者様、スタッフ共にワクチン接種を受けております。スタッフ一同、引き続き気を引き締めて、ご利用者様の安心と安全と笑顔のために精進して参ります。

管理者 平津 知加予



ようこそ🍀おしゃべり電話



070-4117-8848

毎週土曜日午前 10時~12時



コロナで不安な毎日ですね。

誰かと話したい。話を聞いてもらいたい。誰かと繋がりたい。
そんな気持ちがおありでしたら、電話でおしゃべりしませんか

平成28年から練馬区内で活動している傾聴ボランティアが、
高齢者の方や介護をなさっている方のお話し相手をさせていただきます。

主催：傾聴ボランティアこだまの会（氷川台3丁目カフェを運営しています）

ほっと・ハウス・豊玉 だより7月

ほっと・ハウス・豊玉デイサービスセンターでは手づくりで調理した昼食を提供しています。食品衛生実務講習会を終了した7名の調理師が、交代で2人一組で毎日調理をしています。

衛生面には特に気を使い、食材にはしっかりと火を通していますが、歯の悪い人にも食べやすいような料理を心掛け、和食、洋食、中華など、野菜をふんだんに使った色とりどりの盛り付けにもこだわった調理をしており、利用者の方にもご好評を頂いています。



この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

扇風機つき上着

高齢者も障がい者も気軽につどえるカフェをつくろうと、和歌山に移住して古家を改装中。ここは桜の名所。団子を食べるお客を呼ぶのにはキレイな花がいちばん。だから桜を守るぞ。

今日も今日とて、ツラが巻きつきそうな桜を発見。80歳のヤス隊長のもと、3人で草刈り竹刈り。隊長が我々を呼んで「これ着てみなさい」えーっ。扇風機つきの上着じゃない。両脇におもちゃみたいな扇風機がついていて、充電しておいたバッテリーで回る。ブーースウー。上着が丸くふくれると、わ〜〜涼しい!!!これすごいね。熱中症対策だね。

「買いに行こう。草のなかでも目立つハデハデ色がいいね」我々はホームセンターへ、「冷感シャツと組み合わせると最高です」という店員さん。しかし探したら、黒と灰色しかない。サイズもL、LL、3Lばかり。「これって男性用しかないのかも」「えーっ、それって、なんかなあ」

扇風機つき上着をきて、上はまんまる風船状態。下は長靴でいざ出陣。

「遠くからみたらペロペロキャンディーだよ」、と笑われた都会のネズミでした。

小川 陽子

氷川台3丁目カフェ

— 麻雀からおしゃべりまで —

認知症予防に麻雀、花札などしています、介護家族の方も一息つきにどうぞ

- 日時：毎月第1・第3土曜日、午後1時半から4時のご都合のよいときにどうぞ
 - 場所：ほっと・氷川台デイサービスセンター（氷川台3-19-7井垣ビル）氷川台駅2番出口徒歩5分
 - 参加費：200円（会場費・お茶代） ※中止の場合があります。ご連絡ください。
- 連絡先：寺田和子 090-8772-9157（麻雀ご希望の方は2、3日前にご予約を!）

トピックス

認知症予防って、何をすれば良いのでしょうか？ ②

認知症には、中核症状と周辺症状があります。中核症状とは、脳の病変による認知機能の低下から引き起こされるもので、理解力・判断力の低下、記憶障害、見当識障害、遂行機能障害や失語といった症状がでます。一方、そうした中核症状と周囲の環境や対応、その人の性格などが相互に影響し、二次的に生じる症状が周辺症状です。徘徊や異食などの問題行動は、周辺症状であり、中核症状に大きなダメージがあっても、問題行動がない人もいます。逆に、中核症状に大きなダメージがないのに、問題行動を起こす人もいます。人間関係がまだ、色濃く残っている地方では、中核症状に変化があっても問題行動を起こす人は少ないと言われています。それは、徘徊しても、顔見知りの近所の人「あら、おじいちゃんどこに行くの?」と声をかけてくれ、本人は、しばらく会話した後、何もなかったように家に戻るといような話はよく聞きます。

認知症は「死」への前段階で、「死」への恐怖感を和らげる作用があるとも言われています。また、いろいろと課題はありますが、介護保険制度も一定の成果を上げています。認知症を忌み嫌うのではなく、受け入れていく心構えも必要だと思います。

この情報はASA平和台のご協力を頂いています。

ほっと・すぺーす だより

vol.179



定員24名
ほっと・ハウス・豊玉
デイサービスセンター

住宅型有料老人ホーム
☎ 5946-4310

定員14名
ほっと・氷川台
デイサービスセンター

☎ 5922-6577

定員20名
ほっと・ハウス・仲町
都市型ケアハウス

60歳以上の自立者入居施設
☎ 3932-1123

定員20名
ほっと・ハウス・今神
都市型ケアハウス

60歳以上の自立者入居施設
☎ 6906-7670

ほっと・氷川台
ケアプランサービス
居宅支援事業所(ケアマネ4名)
☎ 5921-3190



ほっと・ライフサービス
福祉用具レンタル・販売・住居改修
☎ 6906-9171

夏を迎えます!

本当に、オリンピック大丈夫でしょうか?前回のオリンピックは、天気も含め、素晴らしい大会でした。準備の段階から、何かとケチが付いた今回の大会。どんな大会として記憶されるのでしょうか?

“ありがとう”を大切に

紫陽花の色鮮やかさが美しい季節となりました。

ほっと・ハウス・今神では6月に満床を迎え、ますますにぎやかな毎日になりました。6月10日までには希望者に施設内でコロナウィルスワクチンを2回接種し、発熱等の副作用もなく、一安心しています。

こちらの入居者様は、“ありがとう”という言葉を実によくおっしゃって下さいます。“ありがとう”という言葉は言う方も言われる方も温かな気持ちに包まれます。“ありがとう”を入居者様と職員でお互い笑顔でキャッチボールできるところがこの施設のいいところだなと毎日感じています。

コロナ禍とはいえ、ここは入居者の方々のわが家です。感染対策を施しつつも温かなふれあいのある毎日を提供するために、職員全員笑顔で“ありがとう”を言い合える関係を大切に過ごしていきます。

ほっと・ハウス・今神 青木 陽子

